

第37回 土岐市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和3年7月5日（月）13：30～

場所：土岐市役所・3階大会議室

(参加者)

<敬称略>

委員	磯部 友彦	澤田 眞司	林 直樹
	林 勉	片浦 一郎	小倉 保二
	瀧瀬 健二	後藤 正樹	太田 淑美
	中島 美子	三輪 やよい	日比野 たつ江
	長谷川 満	市岡 ちあき	宮川 高彰
	栗山 徹子（代理）	北澤 しず香	林 淳
	市川 達也	加藤 辰亥	高井 由美子
	鷺見 直人	水野 健治	黒田 隆之
	加納 浩康	松原 裕一	
事務局	籠橋 昭範	水野 弘二	佐橋 直樹

■会長あいさつ

- ・会長あいさつ

(事務局)

- ・本協議は26名中26名の出席があり、規約に基づいて成立したものとする。
- ・議長は、磯部委員にお願いしたいがよろしいか。

～異議なしの声～

■協議事項

(1) こぶしの里迂回に係るダイヤ・ルート変更について

(事務局)

- ・資料1について説明

(市議会議員)

- ・当該路線の利用人数は把握しているのだろうか。

(事務局)

- ・土岐南北線と曾木＝妻木線で少し利用が異なるが、「こぶしの里」停留所は1日1人前後である。
- ・土岐南北線全体としては、平均して20人近く利用がある。曾木＝妻木線は朝6時台は10人弱、夕方の便は5人以下の利用である。

(議長)

- ・変更までまだ時間があるので、バス停での告知だけでなく、市民全体に周知してほしい。特にダイヤが早まる停留所については、使う人にとっては先に行ってしまうことになる

ので、細かいダイヤよりも変更があることを伝えることが重要である。

・承認

(2) 土岐プレミアム・アウトレット線試験運行について

(事務局)

・資料2について説明

(議長)

・協議事項に挙がっているが、何を協議するのか整理したい。今回の増便については、東鉄路線の運賃に沿った運賃である。運賃については協議事項ではない。

(事務局)

・今回せっかく行う実証実験のため、広くご意見を賜りたいと思って協議事項とした。

(議長)

・あくまで既存の東鉄路線を補強するものである。市として支援して増便を図ることに對して、意見を求めるものであるようだ。

(東濃鉄道)

・従来の土岐プラズマ・リサーチパーク線は、昼間も走っていたが辞めてしまい、今は朝夕の従業員輸送のみとなった。それを土岐市の提案でテラスゲートに寄ることにした。

・将来はこのエリアにイオンモールもできるので、盛り上げていきたいと思っている。

(連合自治会長)

・土岐プレミアム・アウトレットは市民以外の人利用も多く、車で来る場合が多い。その結果、バスが利用されず、昼間の便を辞めてしまったのだろう。

・今回の実証実験で利用者にはメリットになるわけだが、この路線を将来的にどう広げていくか。そのためにはメディアや観光とのタイアップが重要だろう。もっと広げていく方策が必要ではないか。

(事務局)

・現在、テラスゲート内の「まちゆい」という施設の内装工事を行っている。そのオープンに合わせて色々頑張っていきたいと思っている。テラスゲートに来た人が、市内に観光に行けるような仕組みを考えているところだ。

(議長)

・交通のアピールよりも、その先で何ができるということが重要だ。

(市議会議員)

・土日祝のみとのことだが、リタイアした人が平日に使うこともあるだろう。多治見ではそのような人も見かける。平日を1日でも運行してもらえないだろうか。

(事務局)

・現在、運転士不足で運転士の確保が難しくなっているが、土日祝日はなんとか余裕があ

るとのことで、今回の実証実験用に専属車両1台と運転士1名確保していただいたところだ。まずは今回の実証実験を行い、その結果を見て平日に拡げていくか考えていきたい。

(議長)

- ・イベントのある時のみ運行させるというのものもあるだろう。

(女性連絡協議会)

- ・県道19号が大渋滞である。市民がどこかに車を停めて、そこからバスに乗ってもらうというのも良いだろう。

(議長)

- ・専門的には「パーク&バスライド」と呼ばれている。良い意見なので、ぜひ工夫してほしい。

- ・承認

(3) 土岐市地域公共交通計画の策定方針について

(事務局)

- ・資料3について説明

(議長)

- ・市内のすべての移動手段を考えるものだ。経営をしているバスのようなものもあれば、無料で送迎している送迎バスもあるだろう。そういうものまで含まれる。
- ・それをふまえて、「この市で暮らすとどんな生活ができるか」を見せてもらえるようなプランにしてほしい。

(東鉄タクシー)

- ・タクシー事業について、昨年度の実績が出たが前年度比半減である。壊滅的だ。現在は8割に戻ればという想定で組み立てているが、8割でもとてもやっていけない。ぜひご利用をお願いしたい。
- ・東鉄グループとして、いろいろな車両を取り揃えているので、いろいろなシーンで利用してほしい。

(事務局)

- ・路線バスが難しくなった場合に、そうした車両のバリエーションは有効になるので、ぜひ相談に乗ってほしい。

(東鉄タクシー)

- ・駄知どんぶりバスは、地元出身のドライバーに担ってもらっており、地域貢献でとてもいい仕事になっていると思っている。こうした事例をぜひ広げてほしい。

(岐阜運輸支局)

- ・進め方について、計画期間は5年間ということでよかったか。5年間で必要なこと、目

標を具体的に書いてほしい。10月くらいにイメージが出てくるということによかったか。

(事務局)

- ・その通りだ。

(岐阜県)

- ・4ページのようなデジタルサイネージを入れていく予定はあるのか。

(事務局)

- ・まだこれからの検討だが、新病院や土岐市駅などは十分考えられる。

(市議会議員)

- ・5年計画だけでなく、その先10年後・20年後の姿について。豊田のスーパーシティ、名古屋のようなバス新システムも考えられるだろう。そういう将来も見据えてほしい。

- ・人口減は仕方がないとして、一方で団塊の世代が高齢者になっていくので、免許返納でバス利用が増えるかもしれない。自動運転などの環境整備もあるだろう。

(事務局)

- ・基本的には5年計画だが、10年先の課題が想定できれば盛り込みたい。

- ・とはいえ、時代の変化が非常に激しいため、想定できる範囲で盛り込んでいきたい。

(議長)

- ・総合計画などもふまえて、この町でどんな生活ができるか、この町に10年後も住みたいと思わせる何か、を盛り込んでもらいたい。

■その他

(1) 中部運輸局岐阜運輸支局からのお知らせ

(議長)

- ・中部運輸局はこうした情報提供を良く行っており、HPに書いてある。
- ・バス停の位置が悪いために交通事故があったのではと言われており、極力安全なところに停めてほしいとは思いますが、難しいところもある。

以上